

**名古屋大学大学院生命農学研究科**  
**附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド（附属農場）**  
**「農場講演会」のお知らせ**

名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド（附属農場）では、地域貢献事業の一環として、以下の講演会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

第1回 8月1日（火） 午後2時00分～3時30分

「なぜサツマイモは救荒作物となり得たのか？サツマイモの優れた養分獲得能の秘密」

講師 矢野 勝也 先生（名古屋大学大学院生命農学研究科）

多くの日本人にとって、飢饉や戦時中に飢餓から人々を救った「救荒作物」としてサツマイモはよく知られています。穀類（イネ・コムギなど）とは対照的に、土地を選ばず少ない肥料でもサツマイモがよく育ったためです。しかし、そもそもなぜ、サツマイモが少ない肥料でも旺盛に成長できるのか、実はよくわかっていないことが多いのです。このサツマイモの優れた性質がわかれば、他の農作物にもその優れた性質を付与することができるかもしれません。ここではその端緒として、サツマイモの特徴的な養分獲得能をご紹介します。

場所：東郷町役場 2階大会議室

〒470-0198 愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地（駐車場あり）

<http://www.town.aichi-togo.lg.jp/>

参加費：無料（事前の申し込みは不要です）

主催：名古屋大学大学院生命農学研究科

後援：東郷町

問い合わせ先：東郷フィールド事務室

電話：0561-37-0200

メール：field-c@t.thers.ac.jp

### 今後の農場講演会の予定

第2回 10月28日（土） 午後2時00分～3時30分

「家畜とゲノム編集」

講師 中村 翔 先生（名古屋大学大学院生命農学研究科）

※第2回農場講演会の会場は、名古屋大学東郷フィールド（附属農場）「農業館」です。

家畜を含むすべての生物は遺伝情報として「ゲノム」を保有しています。昨今よく耳にするようになった「ゲノム編集」とはどのような技術なのか？我々の日常にどのように関わってくる可能性があるのか、ゲノム編集が導く食の未来について家畜の例を中心に紹介したいと思います。